

令和7年度 札幌市立太平南小学校

全国学力・学習状況調査結果を説明する資料

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、今年の4月に全国の6学年を対象に標記の調査を実施し、7月には、調査結果の個人票を配付しました。本校でも結果を分析しましたのでお知らせします。なお、本調査は、6年生を対象に実施されたものですが、ここで得られた成果や課題については、学校全体のものとして捉え、今後の授業改善に生かしていきたいと考えております。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 本調査の目的

- ・全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の結果を検証し、改善を図ること。
- ・各教育委員会、学校等が全国的な状況との比較を通して、自校の教育の成果や課題を見だし、改善を図ること。

2 「教科に関する調査」について

①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等

※上記①と②を一体的に問うこととする

分析では、領域（事項）ごとに自校の平均正答率と全国平均を比較します。比較については、全国平均との差を下表の通り、「3%の幅」で区切って表記します。

全国平均 +3.1以上	全国平均 +3.0%以内	全国平均	全国平均 -3.0%以内	全国平均 -3.1%以下
上回っている	ほぼ同程度であるが やや上回る	ほぼ同程度である	ほぼ同程度であるが やや下回る	下回っている

今年度の調査は、「国語」「算数」「理科」の3教科で行われました。3教科を領域別に分けて、結果から分かる課題とその改善の方向について記しております。なお、課題の欄には、●、○、◎と分けて表記しております。●は課題、○は成果、◎は高い成果という意味合いで分類しております。また、全校平均より上回っている項目にも●がある場合がございますが、領域を総合で判断すると「上回っている」となるが、一部、課題もあった場合に限り、●で表記しております。

3 「生活習慣や学習状況に関する児童質問紙調査」について

71の質問に対して、児童が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答したものを「肯定的な回答」とし、全国と比較して肯定的な回答の割合が高いものと低いものについてお知らせします。

結果と考察におきましては、児童質問紙調査全体から分かった結果や今後の指導の方向性について触れております。

4 その他

本校の令和7年度全国学力・学習状況調査の結果につきましては、本校ホームページでもご覧いただけます。

小学校国語

教科に関する調査の結果及び改善の方向について

太平南小学校の概要

【領域・内容】

～知識及び技能～

□言葉の特徴や使い方に関する事項
平均正答率は、全国平均を下回っている。

□情報の扱いに関する事項

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

～思考力・判断力・表現力等～

□話すこと・聞くこと

平均正答率は、全国平均を下回っている。

□書くこと

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□読むこと

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
例) このみー好み、あつい日ー暑い日

●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
例) 説明文の中から適切に表現されたものを選ぶ。

●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
例) 内容の要点をつかみ、適切に表現されたものを選ぶ。

●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。
例) 相手の発言の意図を読み取る。

○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
例) 文章の説明の中から適切なものを選ぶ。

◎図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
例) 言葉と図で説明した理由を考え、選ぶ。

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
例) 資料を基にして、説明する文章を書く。

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。
例) 複数の資料の中から、必要な部分を見付けて整理し、まとめて書くこと。

改善の方向

○漢字や言葉のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする学習の充実。
→漢字ドリル帳の活用。
→朝学習の時間を弾力的に活用。

○理解を助けるための「見える化」の工夫。
→情報と情報の関係における共通点、分類、原因・結果など、つながりの種類を明確にした指導を意識する。
→図や表を言葉で説明する学習を積極的に取り入れる。

○目的や聞き手を明確にする支援や学習の充実。
→視覚的な整理ツール（メモカード、関連図、付箋など）を用いた話し合い活動の充実。
→話し合い活動の終わりには振り返りの時間を設け、「話題と目的が合っていたか」「聞き手には伝わったか」などを自己評価・相互評価する。

○中心を明確にし、段落構成を意識した文章づくりを意識した指導の充実。
→自分の考えを整理し書く学習活動を充実させる。
→朝学習の時間を弾力的に活用。

○図や表を使うことで「何を分かりやすく伝えたいのか」を明確にする。
→モデル文や例示を活用し、文章だけの場合と、図表がある場合とで比較するなどして、体験的に効果を理解させる。

○表現の調整力を高める指導の充実。
→書く前に、「誰に」「何のために」伝えるのかを明確にし、目的意識を高めることで、詳しく言葉の選び方を意識できるようにする。

○資料と関連付けながら文章を読み取ったり、目的に応じて文章全体から必要な語や分を選び端的に説明したりする活動の充実。

小学校算数

教科に関する調査の結果及び改善の方向について

太平南小学校の概要

【領域・内容】

□数と計算

平均正答率は、全国平均を下回っている。

□図形

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□測定

平均正答率は、全国平均を下回っている。

□変化と関係

平均正答率は、全国平均を下回っている。

□データの活用

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●異分母の分数の加法の計算をすること。
例) $1/2 + 1/3$ を計算する。

○角の大きさについて理解すること。
例) 角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについて選択肢の中から選ぶ。

●図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。
例) 五角形の面積を、二つの図形に分割して、それぞれの面積の求め方を書く。

●伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するための必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。
例) 立式に必要な数値を捉えて、説明を交えて計算する。

○棒グラフから、項目間の関係を読み取ること。
例) 棒グラフを見て、何倍に変化したか読み取る。

●簡単な表から条件に合った項目を選ぶこと。
例) 表の中から、多いものや少ないものを見付ける。

改善の方向

○数と計算の学習の意味理解に努め、思考の手続きの見通しをもたせることを大切にする。
→具体物や数直線などを使って視覚的に数の大きさや計算の手続きを考えることができるようにする。
→計算ドリル帳などを用いて、くりかえし練習する時間を保障する。

○感覚的理解、操作的理解、計測的理解という段階を踏む指導や支援を意識する。
→身の回りのものや体を使って、「これくらい」という感覚を大切にする。
→いろいろな開き具合の型紙や教材を用いて、操作しながら学ぶ。
→分度器を用いて計測する前に、感覚的理解や操作的理解をしっかりと確かめる。
→角の大きさを言語化する学習を大事にする。

○「考え方の言語化」や「図形と式の関連付け」を育てる支援の充実。
→視覚的・操作的に確かめられる教材やICTツールの活用。
→「言葉→式」「式→言葉」の変換練習。

○数量の変化の関係を実感的に捉えられるようにする。
→具体的な操作活動・体験で学ぶ。
→表やグラフで可視化する。
→変化の関係を言語化する練習を行う。

○段階的で具体的に指導する。
→データの収集や整理の際に、「グラフにする理由」を理解させる。
→「棒の長さ＝数量の大きさ」、「題名・縦軸・横軸・目盛り」の意味理解の定着を図る。

○表の構造や見方の理解を支援する。
→表の縦・横の関係を明確にする。
→条件の読み取り練習を段階的に行う。
→具体的な操作活動を取り入れる。
→考え方を言語化する練習を行う。

太平南小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域・内容】 □「エネルギー」を柱とする領域 平均正答率は、全国平均を<u>上回っている</u>。 □「粒子」を柱とする領域 平均正答率は、全国平均を<u>上回っている</u>。 □「生命」を柱とする領域 平均正答率は、全国平均を<u>上回っている</u>。 □「地球」を柱とする領域 平均正答率は、全国平均を<u>上回っている</u>。	●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いていること。 例) 電流がつくる磁力を高めるため、コイルの巻数を変えることを記述する。 ●「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。 例) 水の温度による体積の変化を根拠に、海面水位上昇の原因を予想する。 ◎顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いていること。 例) ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための適切な顕微鏡の操作が分かること。 ●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現すること。 例) 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめた理由について、資料の結果を用いて書く。 ●氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解すること。 例) 水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選択肢の中から選ぶ。	○実験や体験活動の充実。 →電磁石をつくって、電池の数やコイルの巻数を変えて磁力の強さを比較させる。 →観察や比較によって法則性に気付かせる。 ○「理科的な知識」と「実際の自然現象」を結び付ける力を育む。 →実験の結果やそこから得た考察を、自然現象につなげて考える。 →視覚的資料やモデルを活用する。 →事象やその仕組みを言語化する練習を意図的に取り入れる。 ○段階的な技能習得と体験的な学びを大事にする。 →操作の手順の視覚的理解 →操作の手順の段階的的技能習得 ○比較実験が明確になる工夫をする。 →実験の条件を明確にし、粒の大きさ以外をしっかりと揃える。 →実験ではどこを見るのかを明確にする。 ○「水の循環・流れの理解」や「状態変化の因果関係の把握」の学習の充実。 →水の三態や川の流れなどの知識の関連を整理する学習を行う。 →言葉や図を用いるとともに、言語化して表す学習を充実させる。

児童質問紙

特に顕著な傾向がみられた質問の結果及び改善の方向について

全国平均より肯定的な回答が上回っている項目

【自分自身・他者との関わりに関する質問】

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 家にはおよそどれくらいの本があるか。
(100冊以上と答えた児童の割合)
- 読書が好き。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

【学習に関する質問】

- (5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用して)
- 自分のペースで理解しながら進めることができる。
- 分からないことがあったときに、すぐ調べることができる。
- 楽しみながら学習を進めることができる。
- 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 5年生までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた。
- 学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。
(国語の)
- 勉強が好き。
- 授業の内容がよく分かる。
- 授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるか教えてくれるか。
(算数の)
- 勉強が得意。
- 勉強が好き。
- 授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。
(理科の)
- 勉強が得意。
- 勉強が好き。
- 授業の内容がよく分かる。
- 授業で学習したことを普段の生活の中で活用している。
- 授業では、観察や実験をよく行っている。
- 授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えている。
- 授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。

全国平均より肯定的な回答が下回っている項目

【自分自身・他者との関わりに関する質問】

- 将来の夢や目標をもっている。
- 友達関係に満足している。

【学習に関する質問】

- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり、どれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っているか。
- 土曜日や日曜日などの学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しているか。
- PC・タブレットなどのICT機器を使って、情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる。（5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用して）
- 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べることを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 国語の勉強が得意。
- 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。
- 算数の授業の内容がよく分かる。
- 小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている。

結果と考察

【自分自身・他者との関わりに関する質問】

「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした規則正しい生活習慣が定着していることが分かります。ご家庭における保護者の皆様のご支援やお声掛けに感謝いたします。また、学校生活において、先生と良好な関係を築いていることも結果から分かります。安定した日常生活が基になり、「学校に行くのは楽しい。」という思いに繋がっていると考えられます。

また、「読書が好き」と答えた児童もたいへん多いことが分かりました。好ましい読書習慣の定着の背景には、ご家庭の充実した読書環境が支えになっております。

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」と回答した児童も多いことから、自分たちの育つこの太平地区や札幌を愛し、貢献したいという思いの高まりも見られます。

ただ、「将来の夢や目標をもっている。」や「友達関係に満足している。」には課題が残ります。自己肯定感や自己理解を高める関わりの実現を日ごろの学習指導、学級経営で目指してまいります。良好な友達関係づくりについても、安心して所属できる集団づくりや教師の温かい関わり・見取りを大事にしていまいります。

【学習に関する質問】

PC・タブレットなどのICT機器活用に関しては、自分の調べたいことをすぐに調べるなど、十分に活用することができていることが分かります。反面、調べたことを比較・分析する力には課題が残ります。比較や分析を通して、考えをまとめる学習の充実を図ってまいります。

学習態度や授業の参加態度に関しては、課題解決に向けて、自ら考え、自ら解決しようとする姿勢が育っておりますが、より、学び方を自ら選び、調整する力や計画的に学びを進める力に課題が残ります。友達との話し合いなどを通じて、学習改善につなげる意識を高めるなどの手だてを今後進めていきます。

各教科学習に関しては、どの教科も好きで得意と回答する児童は多くおり、前向きに取り組む姿勢は身に付いているのだが、得意と感じていない児童もいることや、日常的な学習習慣の定着に課題が残る児童も多いことが分かった。

自学自習の習慣付けや、学び方の工夫の深化、そして教科ごとの思考力・表現力のさらなる向上が必要である。